

クワシソフツト

自動車用薬液噴射装置

小型トラック用

24V 車対応

取扱説明書

はじめにお読みください

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

東北海道いすゞ自動車株式会社

はじめに

この度、自動車用薬液噴射装置（クリンフット）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書には、薬液噴射装置の正しい取扱方法と注意事項について記載してあります。

この取扱説明書をご一読の上、つねに最良の状態ですく正しく安全にご使用下さい。

お読みになった後はいつでも取り出せるように保管し、わからないことがあったときにお読み下さい。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店にご注文下さい。

尚、品質・性能向上のため、部品の変更を行う場合があります。

その際、本書の内容と一部異なる場合がありますのでご了承下さい。

保証について

キットの各部品の品質保証は東北海道いすゞ自動車株式会社が行います。無償修理期間はキット購入後1年間とさせていただきます。

取り付け作業にかかわる部分の品質保障はその作業を実施したところで行っていただきます。

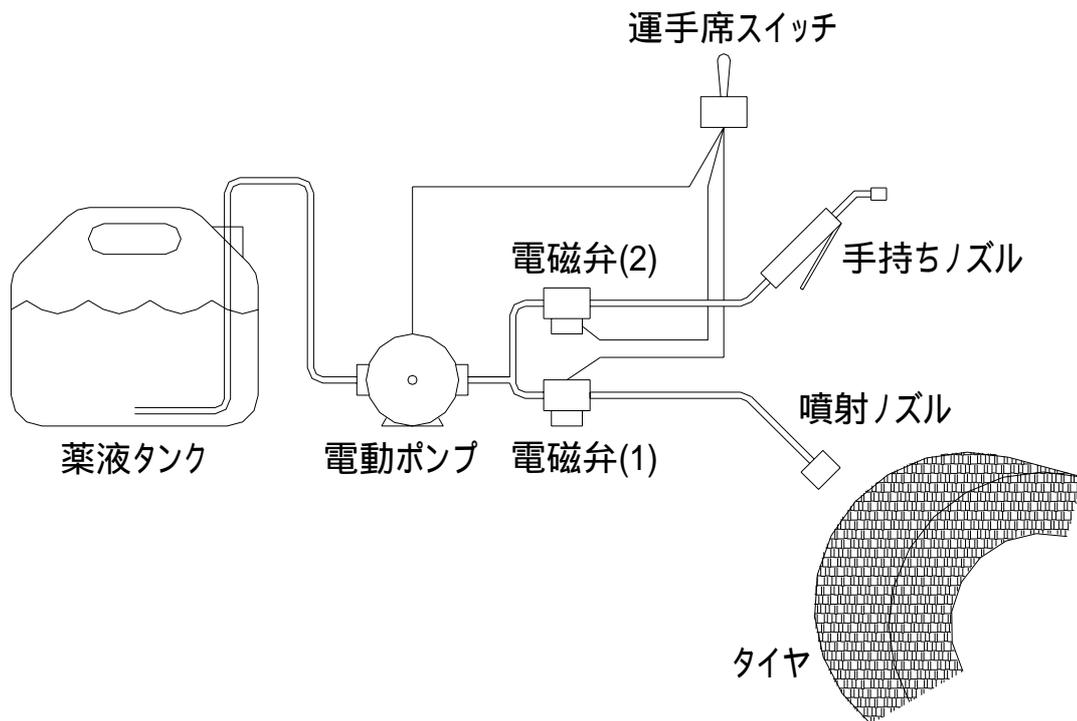
1. はじめに	1
2. 目次	2
3. 装置の概要	3
4. ご使用方法	
4-1 薬液を注入する	4
4-2 タイヤに薬液を噴射する	4
4-3 手持ちノズルで薬液を噴射する	5
4-4 一日のご使用の後に	5
5. 日常のお手入れ	6
6. ご使用にあたっての注意	7

3. 装置の概要

3 - 1 装置の特徴

本装置は、運転席に乗ったままスイッチを操作して車を少し動かすだけで、タイヤに薬液をかける作業ができるため、自動車のタイヤ消毒作業が軽減できます。

3 - 2 装置の構成



4. ご使用方法

4 - 1 薬液を注入する

薬液タンクのキャップを外し、薬剤の取り扱い指示に従って薬液を注入します。

薬液タンクのキャップをしっかりと閉めます。



警告

薬液の濃度はそれぞれの薬品で定められている濃度を厳守してください。
必要以上に濃度の高い薬品は、薬液タンクやその他の装置の腐食を早めるだけでなく、人体や周囲の環境に対して悪影響を及ぼしかねません。

粉末の薬剤を使う場合

粉末の薬剤を水に溶かして使う場合、薬剤の溶け残りがストレーナや噴射ノズルの目詰まりの原因になります。粉末の薬剤をご使用の場合は別の容器で薬剤を十分に溶かしてから薬液タンクに入れるようにしてください。

4 - 2 タイヤに薬液を噴射する

自動車を停止します。

自動車の周囲の安全を十分に確認します。

運転席内の〈クリンフット〉のスイッチを『タイヤ側』に倒します。サイドミラーなどで薬液が噴射されていることを確認してください。

ゆっくりと自動車を動かします。タイヤが2～3回転以上回るように動かしてください。

自動車を停止します。

運転席内の〈クリンフット〉のスイッチを切ります。



危険

一般走行中は危険ですので絶対に使わないで下さい。

薬液は勢いよく噴射されます。周囲に人や車のいないことをよく確かめてからご使用ください。

安全確認は薬液を噴射しながらタイヤ一回転分以上自動車を動かすことを考えて十分に行ってください。

4 - 3 手持ちノズルで薬液を噴射する

自動車を安全な場所に停車します。

運転席内の〈クリンフット〉のスイッチを『長靴クリーナー側』に倒します。

手持ちノズルのハンドルを握ります。薬液が噴射されていることを確認してください。

使用後は忘れずにスイッチを切ってください。



警告 絶対に人や動物に向けて使用しないでください。

もしも誤って薬液が目や口に入ったり皮膚に触れてしまった場合等は、ご使用の薬品の指示に従い速やかに洗い流してください。

重 要

手持ちノズルの使用後は、手持ちノズルのハンドルを開放することで薬液は止まりますが、ポンプなどの装置は動作中のままの状態となっています。

このまま放置すると装置の故障につながりますので、必ず手持ちノズル用スイッチをOFF側に倒して下さい。

4 - 4 一日のご使用の後に

薬液タンクに残っている薬液は全て抜いてください。

薬液タンクに薬液を残したままにすると、薬液中の固形物が沈殿し、目詰まりの原因になるばかりではなく、薬液タンクやその他の部品の腐食にもつながります。長く安全にご使用いただくためにも作業のあとは薬液を抜いてください。

噴射ノズルに泥などがかぶっている場合は洗い流してください。

噴射ノズルに泥がこびりついてしまうと、薬液が正常に噴射されなくなるばかりではなく、ノズル部分の破損につながる場合もあります。泥や異物を長時間放置して固着してしまう前に、こまめに清掃してください。

5 - 1 噴射ノズルの清掃

日常のご使用の際に付着した汚れを洗い流すほか、定期的に噴射ノズルを入念に清掃してください。

5 - 2 ストレーナの清掃

薬液タンクからの吸い出しチューブの先端にストレーナがついています。目詰まりによって薬液の流れが悪くならないよう、定期的に清掃してください。

5 - 3 長期間使用しないときは・・・

長期間使用しないときは、薬液タンクに水を満たしタンク内の薬の成分を洗い流してください。また、噴射ノズルからも水を噴射し、装置全体を洗い流してください。

寒冷地でご使用のお客様へ

薬液の凍結のおそれがある場合、本装置はご使用いただけません。
本装置を永くご使用いただくために、冬季間は下記の手順に従い、凍結防止の対策をしていただきますようお願いいたします。

凍結防止対策の手順1

薬液の代わりに不凍液を入れ、数秒間噴射させ、配管内に不凍液を通します。

噴射ノズルを取り付け金具ごと取り外します(自動車のタイヤハウス内に出来るだけ突起が残らないように外してください)。

噴射ノズルにつながるホースを適当な位置で外してください。(タケノコやネジ込み等、外しやすい場所で構いません。)

外したホースの先端は、ゴミが入らないようにビニールテープ等で栓をしてください。その上でホースを束ねて車両本体にしっかりと固定してください。

外したノズル等の部品はきれいに清掃して保管してください。

作業全般を通して、外した部品やホース等で車両の走行に支障が出ないように充分注意されますよう宜しくお願い致します。

東北海道いすゞ自動車株式会社 特販事業部

080-0010 帯広市大通南7丁目8番地

TEL (0155) 24-1219 FAX (0155) 24-1233

最終改訂: 2006年3月
